

4.1 雑誌論文とは

研究成果は論文というかたちで公表され、同じ成果を得ていたとしても、先に発表された論文の方が研究としての優先権を持ちます。したがって、週刊、月刊など短い周期で刊行され、その分野の定期的な購読者をもつ雑誌は、研究成果の発表の場として重要視されています。雑誌論文と一言でいっても、実際にはさまざまな種類の雑誌があり、それに掲載される論文も多様です。まず、雑誌・論文にはどのようなものがあるのかを見ていきましょう。

4.1.1 雑誌の種類

雑誌は、大きく二つの種類に分けられます。

(1) 学術雑誌 (Journal)

大学、研究所などで研究活動を行う研究者の、研究発表の場として機能するもので、多くの場合、掲載に際して査読と呼ばれる審査を受けます。どのような学術雑誌にどれだけ論文が掲載されたかは、研究者の実績として評価されます。

学術雑誌は、商業出版社や学協会が発行するものが主流ですが、そのほかに大学や研究機関が発行する研究紀要・研究報告類などがあります。

この章では、主としてこの学術雑誌に掲載されている論文を対象とします。

例)「Science」,「日本内科学会雑誌」,「東北大学医学部保健学科紀要」など

(2) 一般雑誌 (Magazine)

学術雑誌に比べ、実用性・娯楽性が強いもので、大学図書館の収集・保存の対象にならない場合もあります。しかし研究分野によっては重要な情報源となるため、これらを対象とした索引も作成されています。

公共図書館では一般雑誌を数多く所蔵しており、国立国会図書館でも納本されたものすべてを保存しています。3.3.1 参照

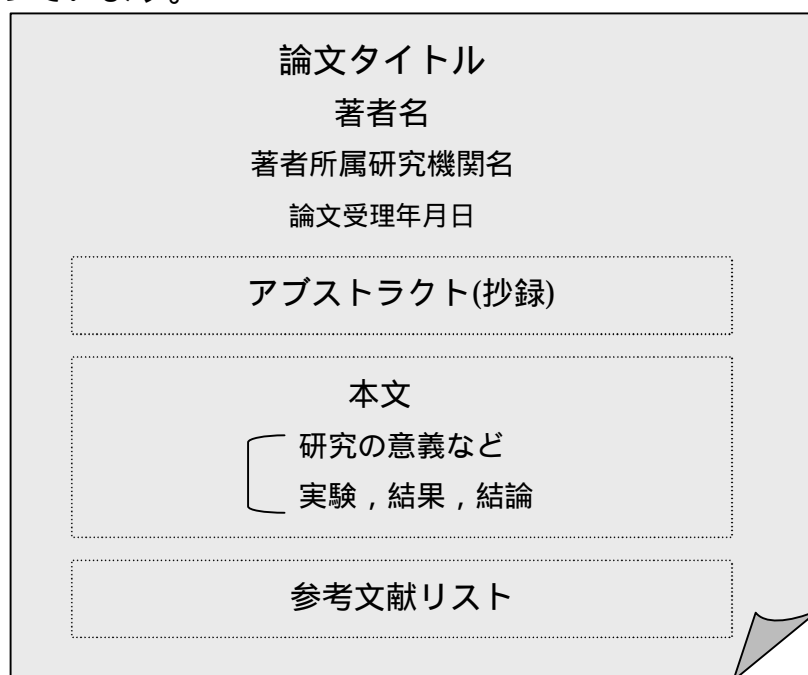
例)「an・an」,「週刊文春」,「NHK きょうの料理」,「本の雑誌」など

4.1.2 論文の種類

学術雑誌に掲載される論文は、その内容・形式により、次のような種類に分けることができます。それぞれの雑誌の投稿規定で、その内容・形式について定義がなされている場合もあります。

- **一般論文** : Original paper あるいは Full paper と呼ばれ、研究成果について詳細に記されたものです。次のように、ある程度形式が決まっています。

例)



- **レビュー** : 総説ともいいます。その分野の事項に関する概説、あるいは研究動向・展望などがまとめられています。
- **速報** : Letter あるいは Communication といい、最新の研究内容が簡略な形式の論文にまとめられたものです。同じ内容について、あらためて一般論文が書かれることもあります。
- **ノート** : 研究過程で判明した、新しい事実などについての短い論文です。

通常の学術雑誌は、これらの論文を取り混ぜて編集していますが、レビューのみの雑誌や、速報のみの雑誌も刊行されています。

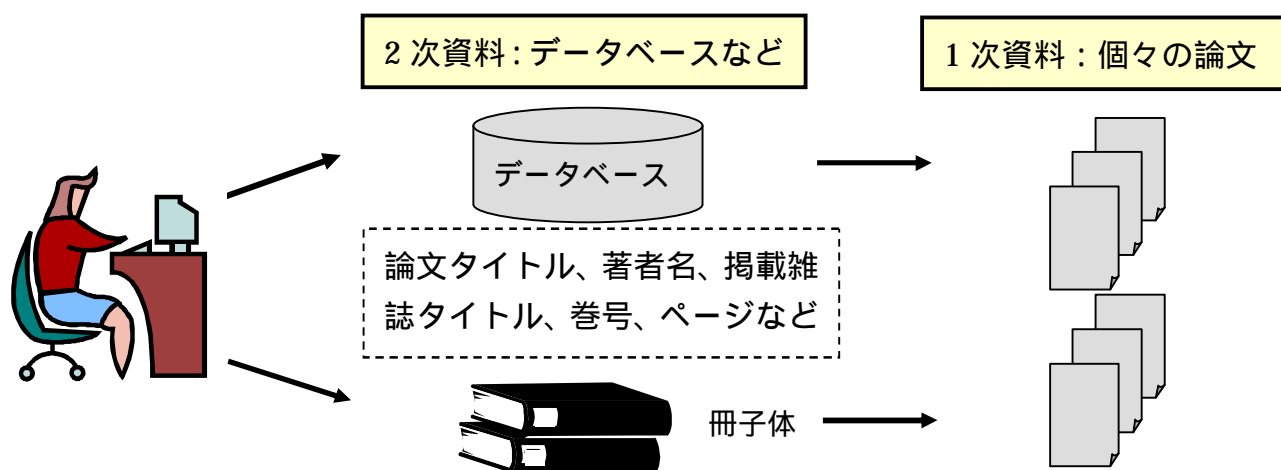
4.2 探す手順

入手したい論文について、すでに掲載された雑誌タイトル・巻号・年などがわかっている場合は、雑誌そのものの所在を探ることになりますので、3章を参照してください。この章では、以下の場合を想定して、探し方を説明します。

- あるテーマ（主題）について書かれた論文には、どのようなものがあるか知りたい。
- ある著者が書いた論文を、網羅的に集めたい。
- 論文タイトル、著者などはわかるが、何の雑誌にいつ掲載されたものかを知りたい。

過去に発表された論文数は膨大です。その中から必要なものを効率よく探すには、2次資料を使うのが有効です。2.3.1(2)参照

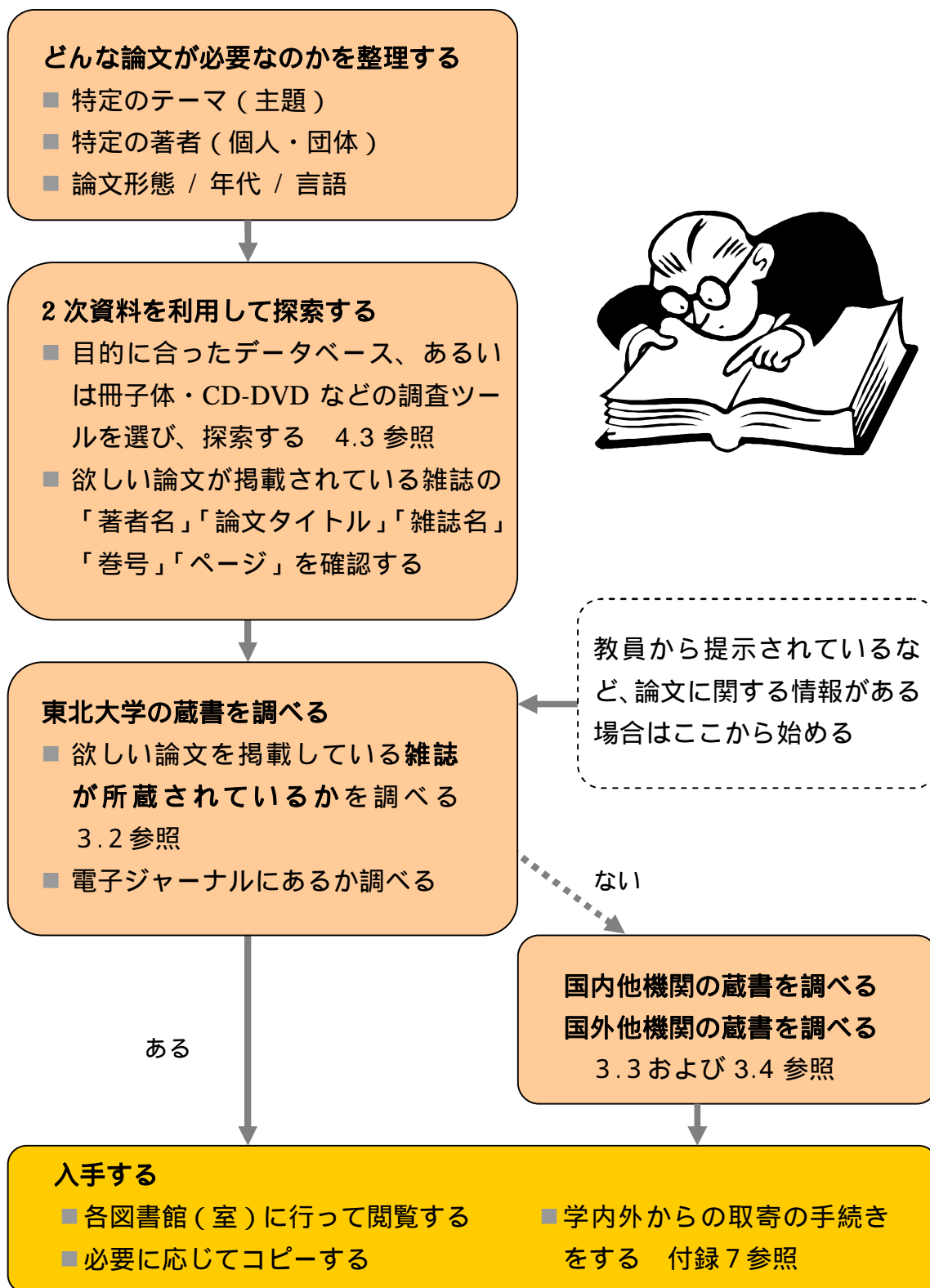
以前は、印刷された形態の2次資料しかありませんでしたが、現在はデータベースが主流となり、ウェブで利用できるようになってきました。著者名、論文タイトルだけでなく、抄録中の単語や著者の所属機関名などから検索可能なツールもあり、論文を探すための機能が豊富になっています。



図表 4-1 1次資料と2次資料

次節から、これらのツールを利用した論文の探し方の流れと、それぞれの2次資料の特徴などを説明します。

雑誌論文を入手するまでの基本的な手順は、次のような流れになります。



図表 4-2 雑誌論文入手までの基本的な手順

4.3 大学内から利用できる主な雑誌論文探索ツール

東北大学内で利用できる、主な雑誌論文探索ツール（2次資料）を紹介します。ここでは主に、大学で利用契約をしているものや無料のものなど、個人の利用申請が不要で、料金請求のないものを中心に説明します。これらのほかに、個人・研究室等で利用申請する有料のものもあります。

これらのツールから得られるのは、著者名、論文タイトル、雑誌名、巻号、ページなどの基本的な文献情報（2次情報）です。論文本文（1次情報）は、それらの文献情報から冊子体の雑誌を探すか、あるいは電子ジャーナルがあればそれを利用するなどして入手することになります。4.4参照

ツールによっては、「アブストラクト（抄録）」を収録している場合があり、論文の内容を確認するために有用です。2.3.1(2)まめちしき参照

4.3.1 全分野対象

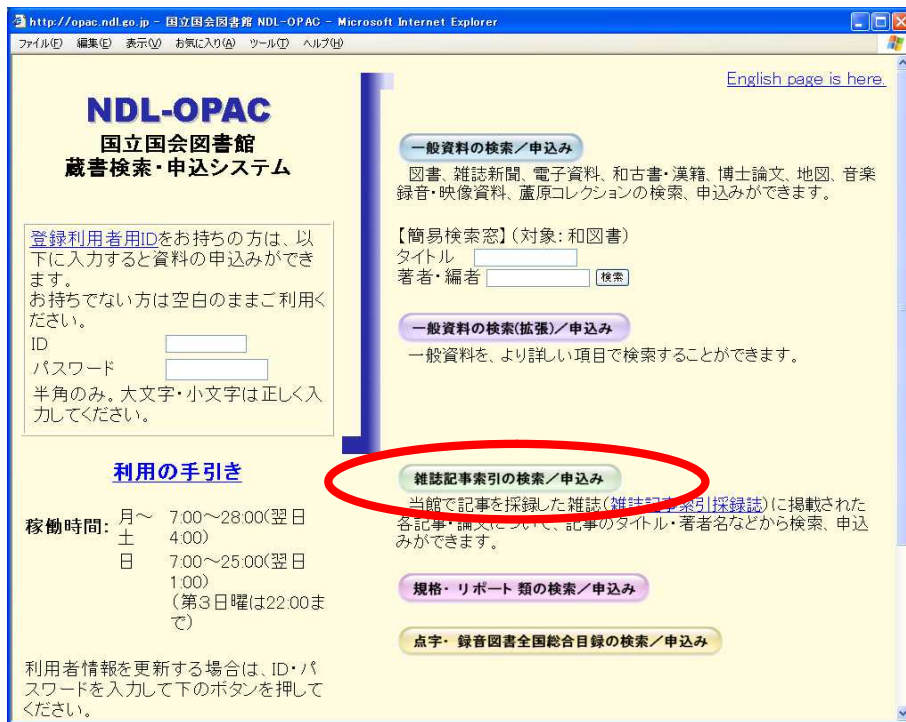
雑誌論文を探すとき、最初は収録範囲の広いデータベースから始めるとよいでしょう。広い分野での漏れの少ない文献収集ができます。

(1) 『NDL-OPAC 雑誌記事索引』

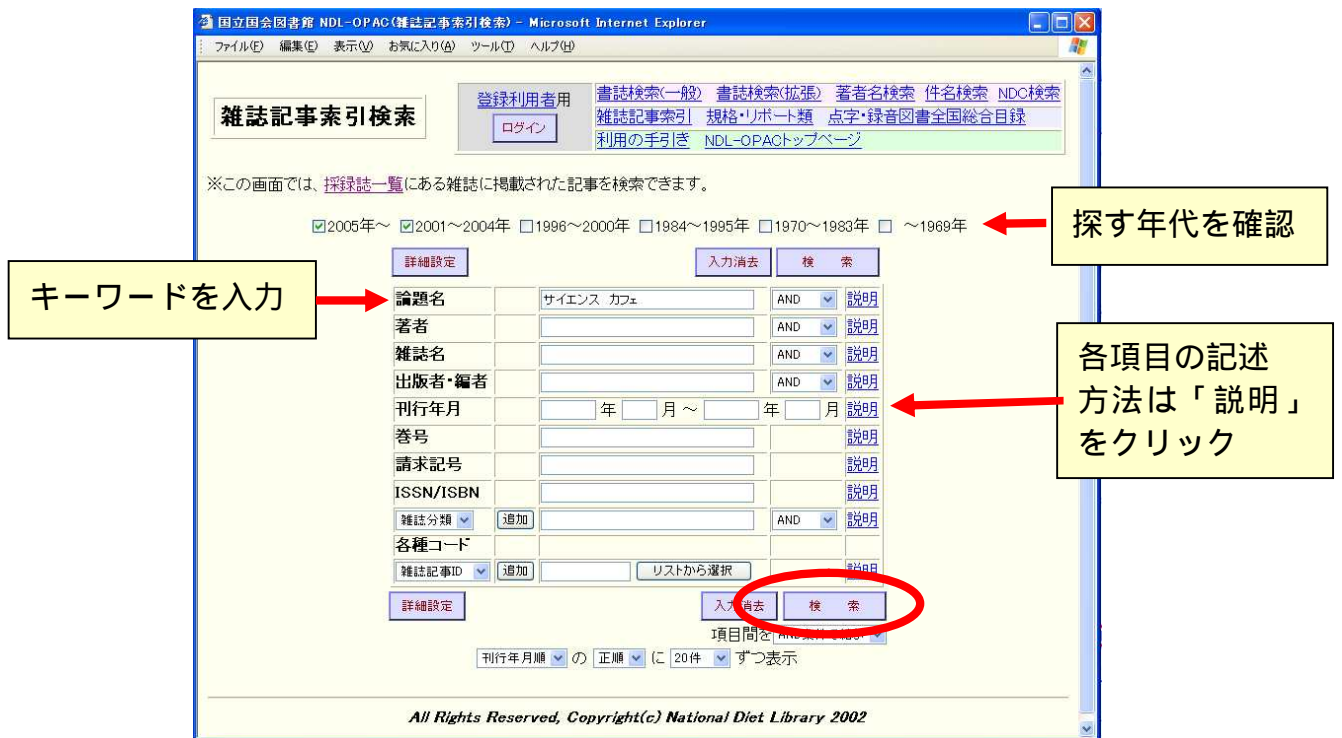
国立国会図書館で収集した国内の学術雑誌、専門誌、一般誌、紀要などの論文記事索引です。日本国内で発行された雑誌に掲載された論文については、ある程度網羅的に調べることができます。

項目	内容説明
分野	全般（日本国内の論文）
提供機関	国立国会図書館
範囲	1948～（1948～1949は人文・社会系のみ）
URL	http://opac.ndl.go.jp/
利用方法	どこのパソコンからでも可
備考	『CiNii』、『MAGAZINEPLUS』からも検索可能（3）参照

「雑誌記事索引の検索」をクリックして選択します。



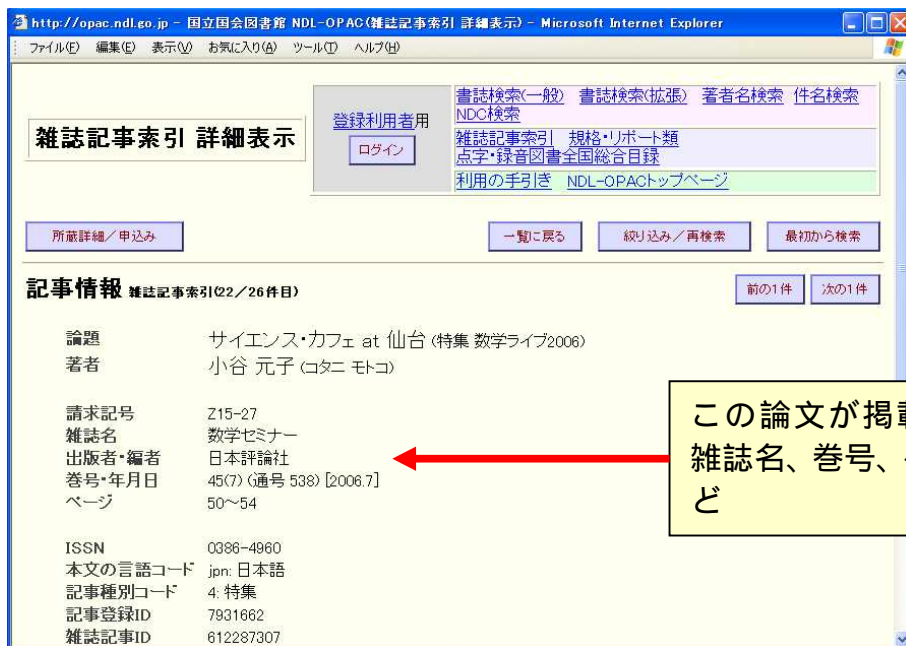
検索画面でタイトル、著者名などを入力して「検索」ボタンをクリックします。
例) サイエンスカフェについての論文を探す



条件に合う記事が一覧表示されるので、詳細を見たいタイトルをクリックします。



掲載された雑誌タイトルなど、その論文の文献情報が表示されます。本文を読むためには、この雑誌の冊子体を図書館で探します。3章参照



(2) 『Web of Science』 (ウェブ オブ サイエンス)

外国の学術雑誌論文について、人文・社会科学、自然科学の各分野を広くカバーしており、『ISI Web of Knowledge』という検索システムを通じて利用します。特に自然科学については、年代的にも探索可能範囲が広いのが特徴です。また、論文間の引用関係がたどれるため、ある論文がその研究分野においてどれだけ影響力をもっているかなどを知るためのツールとしても利用できるという特色があります。

項目	内容説明
分野	全般
提供機関	Thomson Reuters 社
範囲	Science Citation Index Expanded (1900～) 自然科学系 Social Sciences Citation Index (1980～) 社会科学系 Arts & Humanities Citation Index (1980～) 人文科学系
URL	http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/wos/
利用方法	学内のパソコンから(附属図書館ホームページからリンクあり)
備考	学内限定

トピック(Topic)、著者名(Author)、雑誌名(Publication Name)、出版年(Year Publication)、機関名(Address)などの各項目を指定し、検索することができます。

The screenshot shows the ISI Web of Knowledge search page. The search form is highlighted with a red circle, showing the following fields:

- Search for: [Text input field]
- Example: oil spill* mediterranean
- AND [Dropdown menu]
- Example: O'Brian C* OR OBrian C*
- Need help finding papers by an author? Use Author Finder.
- AND [Dropdown menu]
- Example: Cancer* OR Journal of Cancer Research and Clinical Oncology
- Add Another Field >>
- Search [Button] Clear [Button]

The interface also includes a sidebar with sections like "Looking for ISI Proceedings?", "Discover Web of Science", "Customize Your Experience", "My ResearcherID", and "Further Information".

トピック、著者名、雑誌名などを入力し、「Search」ボタンをクリックします。
 例) 井上明久氏が東北大で発表した bulk metallic glasses に関する論文を探す

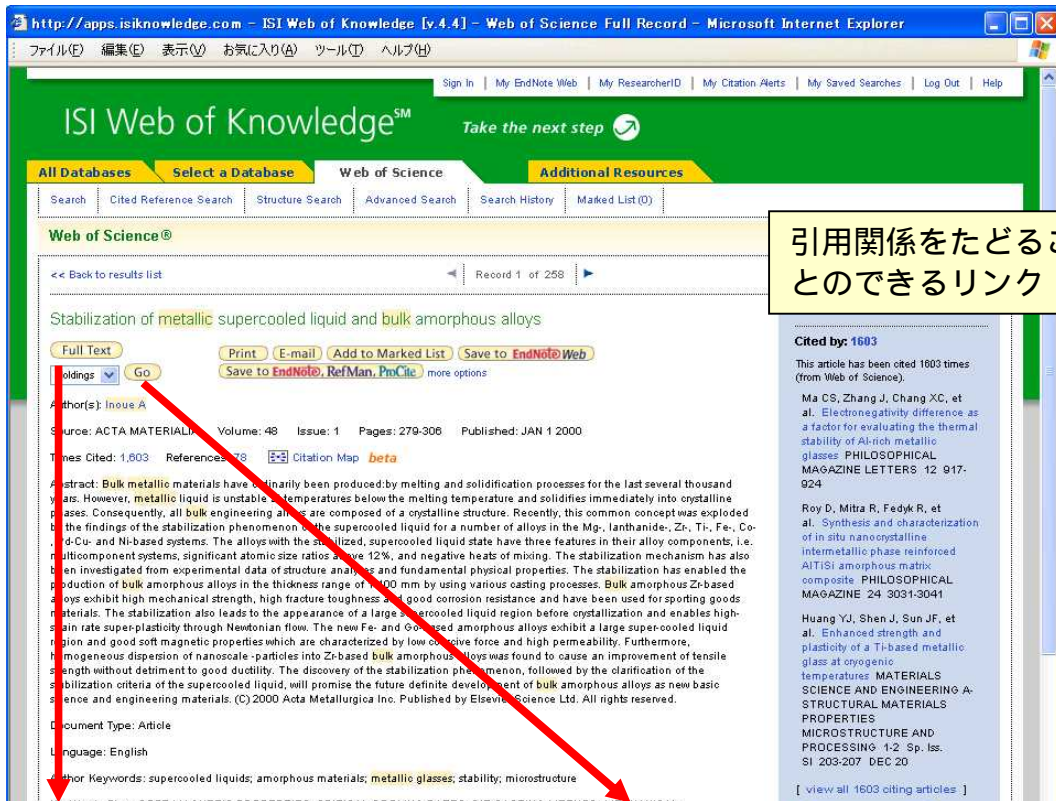
The screenshot shows the ISI Web of Knowledge search page. The search criteria are: Topic: bulk metallic glasses, Author: inoue a*, and Address: Tohoku univ. The 'Search' button is circled in red. A callout box on the right contains the following text:

例)
TOPIC : bulk metallic glasses
 (タイトルなどに含まれる語)
AUTHOR : inoue a*
 (著者名は「*」を末尾につけて前方一致検索)
ADDRESS : Tohoku univ
 (著者の所属する機関名)

条件に合う論文が簡略表示されます。クリックして詳細データを見ます。

The screenshot shows the search results page for the query. The results are sorted by 'Times Cited'. A callout box at the top right says: "検索結果の出力形式を選択できます。" (You can select the output format of the search results.) Another callout box at the bottom right says: "表示順の変更 初期設定は Latest Date(新しい順)ですが TimesCited(被引用数が多い順)などに変更できます。" (You can change the display order. The default is Latest Date (newest first), but you can change it to Times Cited (highest number of citations first), etc.) A third callout box at the bottom left says: "Refine Results キーワードの追加、分野の限定等で検索結果を絞り込みます。" (Refine Results: Narrow down search results by adding keywords, limiting fields, etc.)

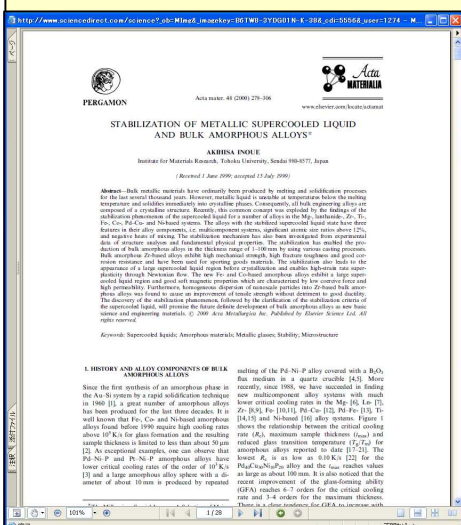
論文のタイトル、著者名、掲載雑誌タイトル・巻号・ページ範囲、アブストラクトなどの情報が表示されます。この画面から東北大学のオンライン目録にもリンクされているので、学内でこの雑誌を所蔵しているかどうか、容易に調べることができます（3.2 参照）。電子ジャーナル本文へのリンクが表示されるものもあります（4.4 参照）。



引用関係をたどることのできるリンク

Full Text
電子ジャーナルへのリンク
(4.4 参照)

Holdings Go
学内所蔵へのリンク
(3.2.1 参照)



論文情報としては、前ページの画面が最も詳細なデータです。しかし、このデータベースは先にも触れたとおり、論文間の引用関係がたどれることが大きな特徴となっています。具体的には、この画面の各項目をクリックすることで、次のような機能を使うことができます。

■ 「Cited by(Times Cited)」

この論文が他の論文に引用された回数を示しています。この回数が多いほど、多くの研究者に影響を与えていると解釈されます。クリックすれば、それらの論文一覧を見ることができます。

引用している論文がこのデータベースに収録されている場合は、さらにその論文一覧からクリックして詳細を見ることができます。この被引用回数は、ほかの論文に引用される都度増加していきます。

■ 「References」

この論文が参考文献としてあげている論文一覧を見ることができます。

その論文がこのデータベースに収録されている場合は、クリックして詳細を見ることができます。

■ 「Related Records」

この論文の参考文献リストと、ほかの論文の参考文献リストを比較し、重複が多い順に論文一覧を表示します。これにより、関連度の高い内容の論文を見つけ出すことができるという、ユニークな機能です。

このように『Web of Science』では、検索語による検索という一般的な探索方法以外にも、引用関係をたどることで関連する論文を多数見つけることができます。関連する文献を、広く収集するときには有効なツールといえます。

(3) その他

■ 『CiNii (サイニイ)』 国立情報学研究所 <<http://ci.nii.ac.jp/>>

学内限定・リモートアクセス可能

(1)の『雑誌記事索引』のデータに加え、日本の学協会誌と大学の紀要に掲載された論文が収録されています。本文へのリンクがあるものが多数含ま

れています。引用関係をたどることができる論文もあります。契約データベースですが、登録をすれば、学外からでも利用できます。また検索・結果の一覧表示は無料で提供されています。東北大学のオンライン目録や『Webcat Plus』へのリンクにより、学内外の所蔵を確認することができます(3.2 および3.5.1(2)参照)。

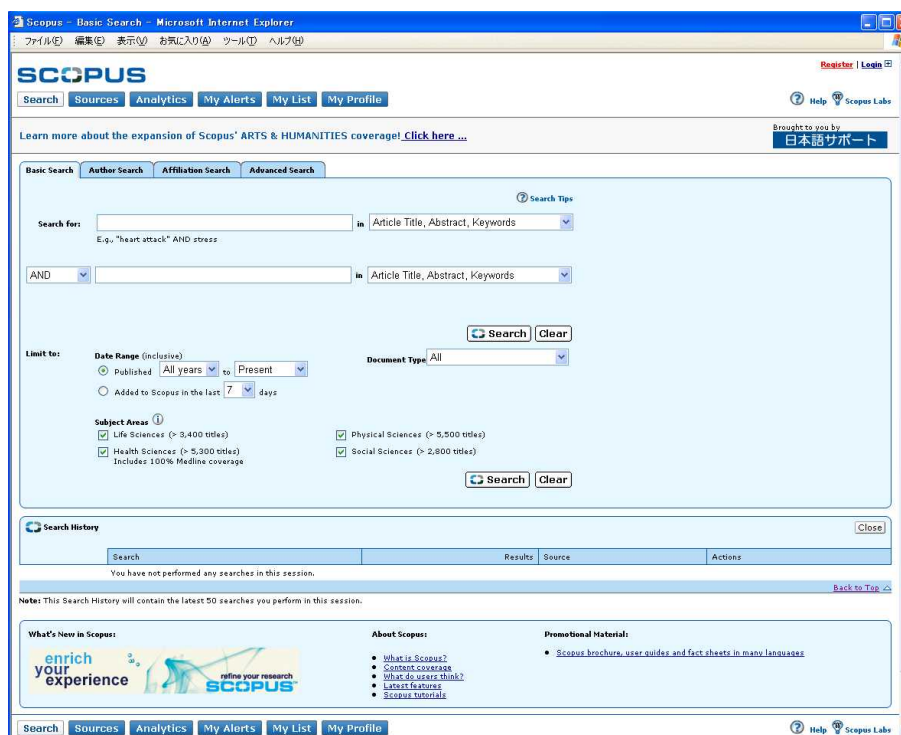


図表 4-3 『CiNii』 検索画面

- 『MAGAZINEPLUS (マガジンプラス)』 1945～ 日外アソシエーツ
 <http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/zsk/> 学内限定
 (1)の『雑誌記事索引』のデータに加え、記念論文集や学会年報・研究報告なども収録しています。(3.2 および 3.5.1(2)参照)。
- 『大宅壮一文庫雑誌記事索引』 大宅壮一文庫
 冊子体 明治～1995：本館 RC [UP171/091]，CD-ROM 版 1992～2002：本館 RC
 ウェブ版 1988～：<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/oya/> 学内限定
 週刊誌、総合誌、女性誌などの一般雑誌を多数収集していることで知られる、大宅壮一文庫の雑誌記事索引です。本館 RC では、冊子体と CD-ROM を所蔵しており、ウェブ版には収録されていない年のデータが利用できます。

- 『雑誌記事索引集成データベース』 皓星社
 <http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/> 学内限定
 『明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成』のデータに、『雑誌記事索引』データ、『雑誌記事索引』に収録されていない地方誌の情報が検索できます。
 冊子体『明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成』 石山洋[ほか]編 皓星社：
 本館 RC [UP54/028] 社会科学編・人文科学編

- 『Scopus (スコーパス)』 Elsevier 社
 <http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/scopus/>
 学内限定・リモートアクセス可能
 15,600 誌以上の科学・技術・医学・社会科学のジャーナルから、3,500 万件以上の書誌・抄録レコードを掲載しています。1996 年以降に出版された論文にはすべて参考文献がついています。



図表 4-4 『SCOPUS』 検索画面

- 『Academic Search Elite』 EBSCOhost
<<http://search.ebscohost.com/>> 学内限定
幅広い分野の学術雑誌 3,400 誌以上の目次、抄録が収録されています。そのうち約 2,000 誌については論文本文が利用できます。
- 『Ingenta Connect (インジェンタ コネクト)』 1900 ~
<<http://www.ingentaconnect.com/>>
収録分野、年代ともに検索可能範囲が広く、初心者でも操作が容易です。契約している雑誌は論文本文が利用できます。
- 『Readers ' guide to periodical literature』 1900 ~ 2004 H.W.Wilson :
本館 RC
米国の一般誌の記事索引です。



まめちしき 日本語論文データベースの収録分野

日本語の論文を調べることのできるデータベースは、それぞれ収録分野に特徴があります。『NDL-OPAC 雑誌記事索引』を基本に、およそ以下の関係になります。収録分野を確認したうえで利用することが大切です。

データベース名	『NDL-OPAC 雑誌記事索引』の収録年代	データベースの特徴
『NDL-OPAC 雑誌記事索引』	人文社会科学編 1948 - 自然科学編 1950 -	国会図書館が選んだ各分野の重要誌「採録誌」から作成
『CiNii』	自然科学編 1950 -1974 を除く	学・協会誌/主に国立大学紀要 本文データのリンク 引用情報
『MAGAZINE -PLUS』		独自採録記事 1946 - 1985 -2002 論文集
『雑誌記事索引集成データベース』		明治・大正・戦前期の 学術専門雑誌・戦後地方誌
『大宅壮一文庫データベース』	収録なし	一般誌

4.3.2 人文・社会科学分野

研究範囲が広く、古い文献の重要性も高いこの分野では、オンラインデータベースの種類は多くはありません。そのため、冊子体ツールも組み合わせて探索する必要があります。また、人文・社会科学分野では業績として図書を重要視する傾向があるため、ページ数の制限がある雑誌では発表しにくい詳細な資料や、解説付きの大部の論文をまとめて図書として出版します。この場合は、「論文を探す」イコール「本を探す」ことになります。したがって、人文・社会科学分野の場合では、以下に説明する雑誌論文のデータベースだけでなく、蔵書目録あるいは出版目録も利用する必要があります。より詳しくは『人文社会科学編』を参照してください。

(1) 人文科学

- 『国文学論文目録データベース』 大正元年(1912)～ 国文学研究資料館
<<http://base1.nijl.ac.jp/~ronbun/>>
国文学関係論文の目録データベースです。日本国内で発表された雑誌、紀要、単行本(論文集)等に収められた論文に関する情報を掲載しています。
- 『MLA International Bibliography on Literature Online』 1963～ ProQuest
<<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/mla/>> 学内限定
現代言語、文学、民間伝承などの分野のデータベースです。外国の書籍・雑誌論文など 170 万件以上の文献情報が収録されています。本学では冊子体、CD-ROM も所蔵しています。
- 『Literature Online』 ProQuest
<<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/lion/>>学内限定
通称『LION(ライオン)』。7世紀から現代まで 35 万件以上の英米文学作品の全文を収録するほか、文学研究のための辞書・事典、『MLA』と『ABELL(Annual Bibliography of English language and literature, 1920 -)』の横断検索による文献検索などが行えます。
- 『PsycINFO(サイコインフォ)』1806～ American Psychological Association
<<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/ovid/>> 学内限定
心理学・行動科学関連の外国文献のデータベースです。検索は『OvidSP』で行います。

(2) 社会科学

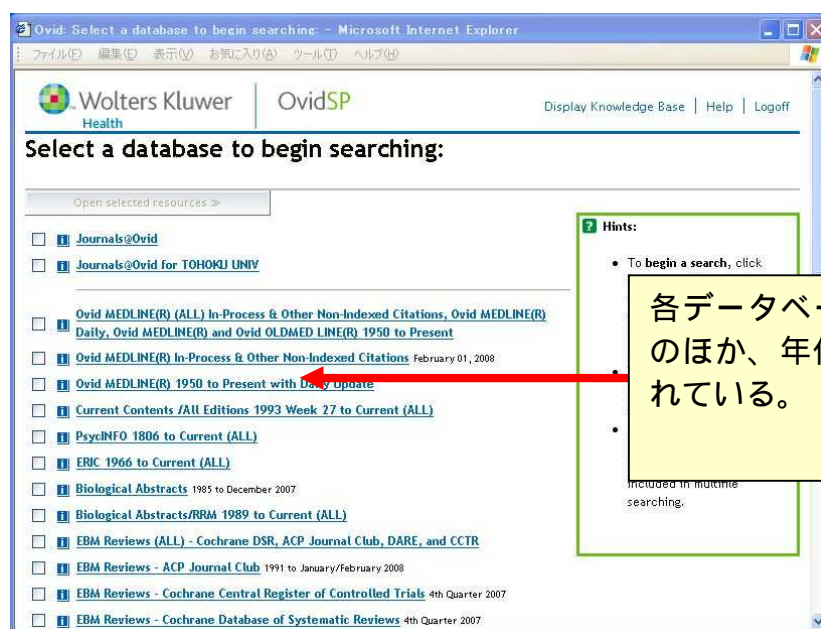
- 『EconLit(エコノリット)』 EBSCOhost
<<http://search.ebscohost.com/>> 学内限定
経済学分野において必須の Journal of Economic Literature の論文記事の全文が 1969 年から収録されており、785,000 件もの情報データを収録しています。シソーラスにより、雑誌論文、書籍、選集、学位論文、ワーキングペーパーなどをより効率良く検索するためのインデックスを付加しています。収録データは毎月更新されます。
- 『Westlaw International』 Westlaw
<<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/westlaw/>> 学内限定
判例/法令をはじめとする法律関連一次情報、法律雑誌などの法律関連二次情報などが利用できます。法学の研究を行っている東北大学構成員は登録により、法律情報に加え、企業情報・ニュースのデータを利用できます。
- 『教育研究論文索引』 1988～2002 国立教育政策研究所：本館 RC
ウェブ版 1988～：<<http://www.nier.go.jp/library/>>
国立教育政策研究所教育研究情報センター教育図書館所蔵の雑誌や大学・教育研究所・教育委員会などの刊行物から、教育に関する記事を採録したものです。1969～70年版および1988年以降の索引はウェブで検索可能です。
- 『ERIC(エリック)』 1966～ Educational Resources Information Center
<<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/ovid/>> 学内限定
教育学分野の外国文献のデータベースです。検索は『OvidSP』で行います。同等内容の無料ウェブサイトもあります。<<http://www.eric.ed.gov/>>
- 『SPORTDiscus』 1800～ Sport Information Resource Centre
<<http://search.ebscohost.com/>> 学内限定
スポーツ学・医学・薬学・教育学・心理学などの外国文献のデータベースです。検索は『EBSCOhost』で行います。



『EBSCOhost』、『OvidSP』

『EBSCOhost』、『OvidSP』は、複数のデータベースを収録している検索システム(プラットフォーム)です。複数のデータベースをまとめて検索することができ、検索結果からは東北大学のオンライン目録や論文本文などにリンクされています。それぞれの検索システムは学内では無料で利用できますが、『OvidSP』は研究室などから利用する場合はIDが必要です。

- 『EBSCOhost』 EBSCO <<http://search.ebscohost.com/>>
- 『OvidSP』 Ovid <<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/ovid/>>



図表 4-5 『OvidSP』 のデータベース選択画面

4.3.3 自然科学分野

一般的に自然科学分野では、多くの研究成果は雑誌論文として発表されます。その後、単独で図書(単行本)として発行されることはまれです。したがって、最新の研究成果を調べたい場合だけでなく、過去の関連する研究成果を探す場合も、雑誌論文を探す必要があります。なお、自然科学系分野において図書として刊行さ

れるのは、多くの場合、その分野を体系的に解説する教科書や、過去に確立された学説などの解説書、特定のテーマに関するシンポジウムの開催記録などです。

自然科学分野は以上のような特徴を持つため、古くから冊子体の2次情報ツールが作成されてきました。近年、それらの多くはオンラインデータベースとして提供されています。ここでは各ツールについて簡単に説明します。より詳細な使い方については、『自然科学編』を参照してください。

(1) 全般

■ 『JDreamII』 科学技術振興機構（JST）

<<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/jdream/>> 学内限定

科学技術全般や医学・薬学関係の文献情報を収録しています。外国語の文献でも日本語で抄録やキーワードが作成されている点が特徴となっています。



図表 4-6 『JDreamII』 シンプルモード検索画面

冊子体の『科学技術文献速報（BUNSOKU）』に掲載のデータも『JDreamII』に収録されています。データ更新は『JDreamII』の方が早いですが、特定の分野の新着情報を調べるには便利です。

「土木・建築工学編」「管理・システム技術編」「電気工学編」などがあります。工分ほかで所蔵しています。

(2) 医学・生命科学・農学

■ 『医中誌 Web』 1983～ 医学中央雑誌刊行会

<<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/ichushi/>> 学内限定

医学、歯学、薬学、および看護学、獣医学などの国内雑誌文献を採録した2次資料『医学中央雑誌』のウェブ版データベースです。検索結果は東北大学のオンライン目録や電子ジャーナル『メディカルオンライン』（星陵地区限定）『Webcat Plus』などとリンクしています。3.5.1(2)参照

冊子体は、1903年の刊行開始から現在のものまで、医学分館で所蔵しています。



図表 4-7 『医中誌 Web』 ベーシックモード検索画面

■ 『MEDLINE (メドライン)』 1950～ U.S. National Library of Medicine

<<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/ovid/>> 学内限定

医学系の文献情報に関する、世界最大級のデータベースです。検索は『OvidSP』、『JDreamII』、『Scopus』、『EBSCOhost』で行います。学内所蔵へのリンクが付加されているなどの利点があります。4.3.2まめちしき参照

■ 『PubMed (パブメド)』 1950～ U.S. National Library of Medicine

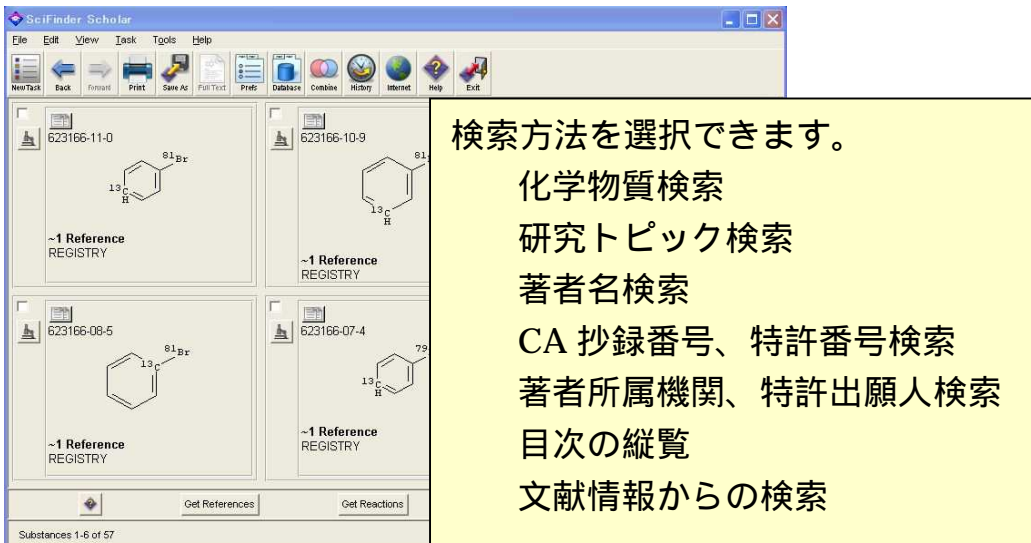
<<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/PubMed/>>

『MEDLINE』とほぼ同等の内容を検索できる、無料ウェブサイトです。

- 『Biological Abstracts』 1985 ~ BIOSIS
 <<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/ovid/>> 学内限定
 生命科学分野の外国雑誌論文を収録しています。書籍、総説、会議録、技術データ報告、特許などを収録した『Biological Abstracts/RRM』も利用できます。いずれも検索は『OvidSP』で行います。冊子体は医学分館等で1927-1984を所蔵しています。4.3.2まめちしき参照
- 『AGRICOLA (アグリコラ)』 米国国立農学図書館
 <<http://agricola.nal.usda.gov/>>
 米国国立農学図書館が所蔵する資料から作成した索引です。データベースの作成は1970年からですが、それ以前の古い資料についても収録しています。

(3) 化学

- 『SciFinder Scholar(サイファインダー スカラー)』 1840 ~ CAS(Chemical Abstracts Service) <<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/scifinder/>>
 学内限定 化学および化学工学を中心に、物理、医薬、生命、農学など幅広い範囲の文献情報に加え、化学物質情報や化学反応情報など、さまざまな情報を検索できるツールです。特許情報も収録されています。検索結果から論文の全文へリンクされているものもあります。利用申請を行う(有料)か、図書館内に設置されたパソコンから利用します。



検索方法を選択できます。

- 化学物質検索
- 研究トピック検索
- 著者名検索
- CA抄録番号、特許番号検索
- 著者所属機関、特許出願人検索
- 目次の縦覧
- 文献情報からの検索

図表 4-8 『SciFinder Scholar』の化学物質検索結果例

- 『日化辞 WEB』 科学技術振興機構(JST)

<http://nikkajweb.jst.go.jp/nikkaji_web/pages/top.html>

JST が作成する有機化合物辞書データベース「日本化学物質辞書(日化辞)」の無料検索サービス。260 万件のデータを名称検索、構造検索することができます。

(4) 数学

- 『MathSciNet (マスサイネット)』 1940 ~ American Mathematical Society
<<http://www.ams.org/mathscinet/>> 学内限定
アメリカ数学会 (AMS) 発行の数学関係抄録誌、『Mathematical Reviews』のオンライン版です。一部の雑誌は論文本文が利用できます。

(5) 物理学・工学

- 『Ei Compendex』 Elsevier 1993 ~ 2006 (CD-ROM) : 工分
工学分野全般の主要な雑誌論文、学協会出版物、会議録、テクニカルレポートなどが検索できます。
- 『INIS』 <<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/inis/>> 学内限定
INIS (国際原子力情報システム) は、IAEA (国際原子力機関) 加盟国と関連国際機関との協力により発足したもので、原子力の平和利用に関する科学技術情報の国際流通を促進することを目的とし、1970 年以降の原子力文献に関するデータベース (約 280 万件) を公開しています。
- 『AIREX (アイレックス)』 宇宙研究開発機構
1990 ~ <<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/airex/>> 学内限定
『AIREX (Aerospace Information Reference system EXternal version)』は、日本と米国の 20 万点以上の宇宙関連文献 (航空宇宙分野の論文・報告書) を検索できるデータベースです。希望する文献を、AIREX システムから無料で入手することができます。

- 『GEOLIS+ (ジオリスプラス)』 産業技術総合研究所
<<http://riodb02.ibase.aist.go.jp/DB011/index.html>>
産業技術総合研究所で受け入れた資料の、地球科学と地下資源に関する文献データベースです。
- 『NTIS』 1990～ <<http://www.ntis.gov/search/index.aspx>>
米国商務省 NTIS(National technical information service)が収集したテクニカル・レポートなどが収録されています。



まめちしき リモートアクセス/オープンアクセス

電子ジャーナルやデータベースは、基本的にはキャンパス内でしか利用できません。自宅などで使いたい時は、リモートアクセスが可能かどうか確認してみましょう。一部の出版社は事前登録をすることで、電子ジャーナルやデータベースを学外からも利用すること、つまりリモートアクセスができるようになります。

『電子ジャーナル/データベース リモートアクセス』

<<http://www.library.tohoku.ac.jp/olj/ej-remoteaccess.html>>

学内限定

オープンアクセス(OA)の論文・雑誌とは「インターネット上に無料で公開されている」ものをいいます。通常雑誌は読者の購読料によって製作されるのですが(商業誌)、著者などが製作費を支払うことで、読者には無料で提供しよう、たくさんの人に読んでもらおうというOA誌が2003年頃から創刊されるようになり、現在は3800誌以上のOA誌があります。一方商業誌に掲載される論文でも、近年著者の意向で論文単位にOAになるものが出てきました。電子ジャーナル論文一覧で“free”などの表示があるものがそれにあたります。機関リポジトリに掲載された論文も広義にはOAといえます。(まめちしき 6.2.(3)参照)

『Directory of Open Access Journals』 Lund University Libraries
<<http://www.doaj.org/>>

4.4 電子ジャーナル

「雑誌」といえば、図書館の新作雑誌コーナーに陳列されている冊子体を思い浮かべると思います。しかし大学では、「電子ジャーナル」と呼ばれる電子的形態の雑誌が、理系の分野を中心に多く利用されています。前節で紹介した各種論文探索のツールを利用して論文を探した後、その本文を入手するのに、冊子体のほかにも電子ジャーナルを利用できるのです。

ここでは、皆さんにとって新しい利用形態となる電子ジャーナルの説明をします。

4.4.1 電子ジャーナルとは

電子ジャーナルは、冊子体の内容と同じ本文を、ウェブで利用できるようにしたもので、以下のような特徴があります。

- 自分の研究室から利用できる。
- 図書館の開館時間にかかわらず、24時間利用できる。
- 複数の利用者が同時に利用できる。
- キーワードや、著者名などからの検索機能も備えている。
- 『Web of Science』『Scopus』などの論文情報のデータベースからリンクし、フルテキスト（本文）を直接参照することもできる。
- プリンタから出力する場合でも、印刷物とほぼ同じレイアウトで利用できる。
- 参考文献から直接フルテキストをたどれる場合もある。

このように数多くの利点があるため、多くの大学図書館で電子ジャーナルの導入を進めています。ただし、電子ジャーナルの利用においては、以下のことに注意する必要があります。

- 利用時に表示される利用上のルールをよく読み、遵守する必要がある。特に、短時間に大量のダウンロードは行わない。
- 海外の雑誌に比べ、日本国内で刊行された雑誌については、電子ジャーナルになっていないものが多い。
- 利用可能な年代は雑誌ごとに異なっている。

4.4.2 本学での使い方

電子ジャーナルは、その雑誌を出版している出版社や学会と、利用機関との間で利用契約を交わすことで、利用可能になっています。そのため、教員、学生を問わず、利用者個人に料金請求が行われることはなく、大学内のパソコンからであれば、手続きなしで利用することができます。以下に一般的な利用方法を説明します。

(1) 「電子ジャーナル」からのアクセス

例題 Ryuta Kawashima, et al., “Artifact reduction for EEG/fMRI recording...” *Clinical Neurophysiology*, vol.117, Issue.3, Mar 2006, p.668-680 を電子ジャーナルで探してみる。

附属図書館のホームページから「電子ジャーナル」の項目をクリックします。プルダウンで電子ジャーナルを選択して、トップページの検索窓から検索する場合は へ。

The screenshot shows the homepage of the Tohoku University Library. At the top left is the library logo and name. A search bar is located at the top right. Below the search bar is a navigation menu with options like HOME, お問い合わせ, and English. A central search area contains a dropdown menu with the following options: 蔵書検索(図書・雑誌), 蔵書検索(図書), 蔵書検索(雑誌), 電子ジャーナル (highlighted with a red circle), TOUR(研究成果), and TOUR(貴重コレクション). To the right of the dropdown is a search button labeled '検索'. Below the search area are links for '資料検索', '学習・研究支援', '貴重コレクション', and '図書館について'. On the right side of the page, there is a sidebar with information about library hours for various departments and a section for '学外の方へ' (For those outside the university).

雑誌のタイトルで検索します。

東北大学附属図書館 電子ジャーナルリスト

E-JOURNAL PORTAL

Electronic Journal List

[電子ジャーナルトップページ](#) [検索についてのヘルプ](#) [ホームページ](#)

■ システムディックダウンロードは禁止されています。

雑誌名(アルファベット順)リスト - BROWSE e-journals by title

[0-9](#) [日本語タイトル*](#) [A](#) [B](#) [C](#) [D](#) [E](#) [F](#) [G](#) [H](#) [I](#) [J](#) [K](#) [L](#) [M](#) [N](#) [O](#) [P](#) [Q](#) [R](#) [S](#) [T](#) [U](#) [V](#) [W](#) [X](#) [Y](#) [Z](#)

* 別文字が漢字のタイトルは、コード順で表示されます

雑誌タイトル/ISSNから検索 - SEARCH e-journals by title or ISSN

Title begins with

日本語タイトルは Title begins with 検索してください

分野別リスト - BROWSE e-journals by subject

-- Please select a subject category --

主な導入パッケージ

東北大学附属図書館

Last Updated on 25 February 2009 © 2000-09 [Serials Solutions, Inc.](#)

電子ジャーナルリストの画面レイアウトは変更になる場合があります。

フルテキストが見られる範囲を確認し、リンクをクリックします。

東北大学附属図書館 電子ジャーナルリスト

E-JOURNAL PORTAL

Electronic Journal List

[電子ジャーナルトップページ](#) [検索についてのヘルプ](#) [ホームページ](#)

[0-9](#) [日本語タイトル*](#) [A](#) [B](#) [C](#) [D](#) [E](#) [F](#) [G](#) [H](#) [I](#) [J](#) [K](#) [L](#) [M](#) [N](#) [O](#) [P](#) [Q](#) [R](#) [S](#) [T](#) [U](#) [V](#) [W](#) [X](#) [Y](#) [Z](#)

Title begins with

2 records retrieved for the search: Title begins with "Clinical Neurophysiology"

Clinical neurophysiology (1988-2477)
from 1999/01/01 to present in [ScienceDirect Journals](#)

Neurophysiologie clinique (0987-7053)
Alternate Title: Clinical neurophysiology
from 1968/02/01 to present in [ScienceDirect Journals](#)

[Back to top](#)

東北大学附属図書館

Last Updated on 25 February 2009 © 2000-09 [Serials Solutions, Inc.](#)

ここから先は出版社のウェブサイトとなります。見たい巻号を探してクリックします。

The screenshot shows the ScienceDirect website interface. The main content area is titled 'Clinical Neurophysiology' and lists several articles. The article 'Electroencephalogram characteristics of autonomic arousals during sleep in healthy men' is highlighted with a red circle. The article list includes:

- 1. Contents
- 2. Editorial Board
- 3. Individual variability, end-point effects and possible biases in electrophysiological research
- 4. A comprehensive review of the effects of rTMS on motor cortical excitability and inhibition
- 5. Electroencephalogram characteristics of autonomic arousals during sleep in healthy men

該当論文のリンクから、本文を表示します（この例では「PDF」を選択）。必要に応じて印刷して利用します。

The screenshot shows Adobe Reader 7.0 displaying the PDF of the article. The document structure is visible on the left side, including sections like 'Introduction', 'Materials and methods', 'Results', and 'References'. The main content area shows the title 'Artifact reduction for EEG/fMRI recording: Nonlinear reduction of ballistocardiogram artifacts' and the authors: Xiaohong Wan, Kazuki Iwata, Jorge Riera, Toru Ozaki, Masaharu Kitamura, Ryuta Kawashima.

(2) 『Online Catalog』からのアクセス

雑誌を検索し、下図のような詳細画面が表示されたときに、電子ジャーナル情報のリンクが表示される場合があります。このリンクをたどっていくことにより、目次や抄録、フルテキストを表示することが可能です。

ただし、リンクが表示されるのは、東北大学が有料で契約している電子ジャーナルが中心となっています。リンクがない場合でも利用できることがあるので、電子ジャーナルリンク集やサーチエンジンなどで再度確認してください。

The screenshot shows the 'Online Catalog' interface for the journal 'Clinical neurophysiology : journal of the International Federation of Clinical Neurophysiology'. The page includes a search bar, navigation buttons, and a table of holdings. A red circle highlights the 'URL1' and 'URL2' fields, which contain links to the electronic journal information.

所蔵巻号 (全ての製本を表示)	年次	配架場所	請求記号	コメント
110-117+	1999-2006	病医(精神医学)		

未製本所在	製本後配架場所	請求記号
病医(精神科)	病医(精神科)	

図表 4-9 『Online Catalog』の雑誌の詳細表示

(3) データベースからのアクセス

『Web of Science』や『Scopus』、『EBSCOhost』、『OvidSP』、『CiNii』などの各データベースから論文本文を利用できる場合があります。論文本文を利用できる場合は、「Full Text」、「PDF」などのボタンが表示されます。4.3.1(2)(3)参照



電子ジャーナル利用法の最新情報は Web 版を見てください！
 『東北大学生のための情報探索の基礎知識』
[<http://www.library.tohoku.ac.jp/mylibrary/tutorial/2009/>](http://www.library.tohoku.ac.jp/mylibrary/tutorial/2009/)



まめちしき 電子ブック

電子ブックは電子化された書籍で、電子書籍や e book と呼ばれることもあります。電子ジャーナルと同じように、インターネットを介して Web ブラウザで閲覧でき、著作権の消滅した文学作品を電子化して収録している『青空文庫』<<http://www.aozora.gr.jp/>>や、近年話題になったケータイ小説も、広い意味での電子ブックに含まれるといえます。

東北大学では、OCLC(米国の図書館相互協力ネットワーク)が提供する大学の学部生向けの基本的な学術図書のコレクション『NetLibrary』、Elsevier社の『ScienceDirect ハンドブックシリーズ』を導入しています。その他、各種データベースの中には『化学書資料館』や『日国オンライン』、研究社の辞書を横断検索できる『KOD』、『The New Palgrave Dictionary of Economics』のように冊子体として著名な参考図書を電子化しているものもあります。全文検索が容易な電子ブックの利点を生かしたデータベースといえるでしょう。

- 『電子ブックサービス』 東北大学附属図書館
<<http://www.library.tohoku.ac.jp/ebook/>> 学内限定



図表 4 -10 『NetLibrary』簡易検索画面

演習問題

4 -1 野家啓一氏の「「理性」の外部としての異界」という文献について、掲載雑誌タイトル、巻号、出版年、ページを確認する。
(『雑誌記事索引』を使う)

4 -2 大西仁氏の国内論文を収集する。
(『雑誌記事索引』『MAGAZINEPLUS』『CiNii』を使う)

ヒント：『雑誌記事索引』では、検索年代はすべて選択する。著者名をそのまま入力すると別人まで含まれてしまうことに注意。別人を除いて検索する方法は「利用の手引き」などで確認する。

4 -3 田中耕一氏が共著者の文献「beta-carboline alkaloids as matrices...」について、掲載雑誌タイトル、巻号、出版年、ページを確認する。
(『Web of Science』を使う)

4 -4 東北大学総長・井上明久氏の 2001 年に公表された論文のうち、最も多く他の研究者から引用されている論文を調べる。
(『Web of Science』を使う)

ヒント：著者名や所属機関の入力方法は入力欄上にあるサンプル例を参照する。検索された結果一覧を、画面のソート機能を使って引用件数順に並べ替える。

4 -5 本多光太郎の論文で「鋼」がタイトルに含まれるものを探す。(『CiNii』『Web of Science』を使う)

ヒント：複数データベースを使い比べてみるとそれぞれの特徴がわかりやすい。欧文データベースは漢字を使用できないので、著者から探す場合は Author を「honda k*」鋼は「steel」と入力する。

解答と解説は、付録 8 にあります。